

東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）

1. 商品等の内容

(当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧説を行っています)

金融商品の名称・種類	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型） 証券投資信託
組成会社（運用会社）	東京海上アセットマネジメント株式会社
販売委託元	東京海上アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の複数の資産（債券70%・株式15%・REIT15%）に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 ・ファンドの基準価額の変動リスクが大きくなった場合には、基準価額の変動リスクを抑制することを目標として、株式とREITの資産配分比率をそれぞれ引き下げます。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期での資産形成を目的とする方 ・中長期の元本割れのリスクを低く抑えたい方 ・以下の分配金の仕組みをご理解いただいたうえで、定期的(1か月ごと)に分配金を享受したい方（資産取り崩しニーズのある方） <p>【分配金の仕組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ファンドの分配金は純資産から支払われるため、その金額相当分だけ基準価額は下がります。 ②分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。 ③投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。 <p>※ 詳細は、交付目論見書の「収益分配金に関する留意事項」をご覧ください。</p>
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

右記のような質問があれば、お問い合わせください。

- ▶ この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- ▶ この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ▶ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2. リスクと運用実績

(本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)

損失が生じるリスクの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運用資産の市場価格の変動による影響を受けます。 ・投資先などの破綻や債務不履行による影響を受けます。 ・市場の流動性による影響を受けます。
【参考】過去1年間の收益率	1.5% (2024年1月末現在)
【参考】過去5年間の收益率	平均-0.9% 最低-8.5%(2020年10月) 最高6.3%(2019年10月) (2019年2月～2024年1月の各月末における直近1年間の数字)

※ 損失リスクの内容の詳細は交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。

右記のような質問があれば、お問い合わせください。

- ▶ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ▶ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3. 費用

(本商品の購入又は保有には、費用が発生します)

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	<p>購入価額に対して下記の料率を乗じた額 1.10%（税抜1.0%） ※購入時手数料は、ファンドの保有期間が長期に及ぶほど1年当たりの負担率が递減します。</p>
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	<p>信託報酬の総額は、ファンドの純資産総額に信託報酬率年率0.924%（税込）を乗じて得た額です。 その他の費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。 これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。</p>
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は交付目論見書の「ファンドの費用」に記載しています。

右記のような質問があれば、お問い合わせください。

- ▶ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ▶ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

▶ 次頁も必ずご確認ください ◀

